

# 機器システム部材

## セールス & テクニカルニュース

No. 19-007  
2019年10月発行

表題	ポート不足時のカスケード接続（直列接続）について
適用機種	産業用スイッチングハブ

平素は弊社製品に対し格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。  
本資料は、産業用スイッチングハブのカスケード接続について記載したものです。

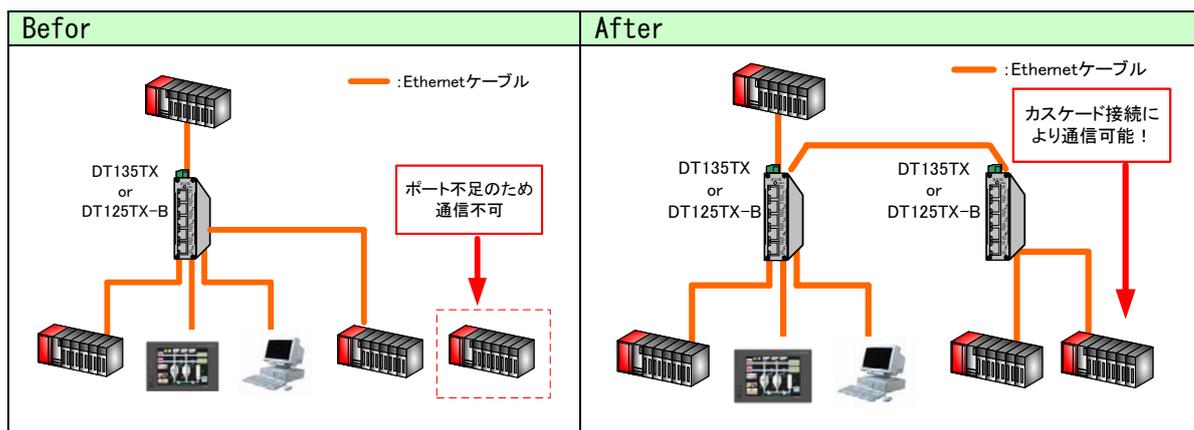
### 記

#### 1. 対象製品

FAソリューションパーツ  
産業用スイッチングハブ  
形名：DT135TX、DT125TX-B

#### 2. カスケード接続について

上記スイッチングハブは、下記のような接続先の機器が多くポート数が足りない場面は、カスケード接続してお使いいただけます



#### 【注意事項】

スイッチングハブはデータ転送時一台当たり、下表1.記載のレイテンシ(遅延時間)が発生します。カスケード接続する場合応答時間が延びるため、システムの要求仕様内であることをご確認ください。(CC-Link IE Fieldで使用する場合は、最大20台迄となりますのでご注意ください。対象：DT135TX)

表1. レイテンシ (1台分)

形名	通信速度	レイテンシ (実測値)
DT135TX	1000Mbps	1.2us
	100Mbps	6.1us
	10Mbps	45.9us
DT125TX-B	100Mbps	5.0us
	10Mbps	16.0us

※試験結果であり保証値ではありません。

上記は入力ポートでフレームの最終ビットを受信し終わってから、出力ポートより最初のビットを転送するまでの時間になります。

レイテンシとは：データ転送における指標のひとつで、転送要求を出してから実際にデータが送られるまでに生じる通信の遅延時間。